

第3回理事会 次第

日時：2019年10月18日(金) 午後4時から
場所：アイリス愛知 2階 コスモス

1 開 会

2 議 事

【議 案】

- 第1号議案 会長代行及び副会長の選定について
- 第2号議案 大会開催基本計画の承認について 【資料1】
- 第3号議案 大会スローガンの決定について
- 第4号議案 評議員会の開催について 【資料2】

【報告事項】

- 報告事項1 名誉顧問、顧問及び参与の決定について
- 報告事項2 大会エンブレムの募集について
- 報告事項3 職務執行状況について 【資料3】

【その他】

- 今後の理事会の開催について 【資料4】

3 閉 会

<配布資料>

第3回理事会議案書

- 資料1 第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）開催基本計画
- 参 考 大会開催基本計画について
- 資料2 評議員会の議題
- 資料3 職務執行状況
- 資料4 今後の理事会スケジュール（予定）

第3回理事会議案書

2019年10月18日

一般財団法人

愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会

一般財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会第3回理事会

【議案】

- 第1号議案 会長代行及び副会長の選定について
- 第2号議案 大会開催基本計画の承認について
- 第3号議案 大会スローガンの決定について
- 第4号議案 評議員会の開催について

【報告事項】

- 報告事項1 名誉顧問、顧問及び参与の決定について
- 報告事項2 大会エンブレムの募集について
- 報告事項3 職務執行状況について

【議 案】

第1号議案 会長代行及び副会長の選定について

会長代行及び副会長は、以下のとおりとする。

役 職 名	氏 名	所 属 等
会長代行	田嶋 幸三	公益財団法人日本オリンピック委員会副会長
副 会 長	福井 烈	公益財団法人日本オリンピック委員会専務理事

第2号議案 大会開催基本計画の承認について

第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）開催基本計画は、資料1のとおりとする。

第3号議案 大会スローガンの決定について

第20回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）のスローガンは、以下のとおりとする。

IMAGINE ONE ASIA
ここで、ひとつに。

※現在商標出願中

【趣旨】

スポーツには、言語や文化、国境を越えて、人々を結びつける力があります。

愛知・名古屋 2026 大会では、スポーツが持つこの力を活かし、さらには、多様化が進む社会に生きる私たちひとりひとりが、それぞれの「ONE ASIA」を想像 (IMAGINE) することで、絆を深め、未来へ向かって進んでいけるようにとの願いを込めたものです。

また、選手、ボランティア、観客など大会に関わる人々が、様々な時間や空間、体験や感動を共有し、ひとつになっていこうという思いも込めました。

【スローガン制作者】

さかもと わか
坂本 和加 コピーライター／合同会社コトリ社代表

【参考：第20回アジア競技大会スローガン選定委員会】

役職名	氏名	所属等
委員長	廣村 正彰	廣村デザイン事務所代表／グラフィックデザイナー
委員	北川 啓介	名古屋工業大学大学院工学研究科教授／建築学者
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学学長／宣伝会議取締役副社長
委員	福里 真一	クリエイティブディレクター／ワンスカイ所属
委員	矢野きよ実	パーソナリティー／書道家

(敬称略／委員は五十音順)

第4号議案 評議員会の開催について

第3回評議員会を、以下の開催方法及び議題により開催する。

(1) 開催方法

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条及び定款第22条第1項の規定（決議の省略）に基づき、書面により評議員会を執り行う。

(2) 議 題

第1号議案 定款の一部変更について（資料2）

第2号議案 理事の選任について（資料2）

第3号議案 評議員及び役員等の報酬等並びに費用に関する
規程の一部改正について（資料2）

【報告事項】

報告事項1 名誉顧問、顧問及び参与の決定について

名誉顧問、顧問及び参与として、以下の者を決定した。

役職名	氏名	所属等
名誉顧問	山下 泰裕	公益財団法人日本オリンピック委員会会長

役職名	氏名	所属等
顧 問	飯泉 嘉門	全国知事会会長
	田中 英夫	全国都道府県議会議長会会長
	野尻 哲雄	全国市議会議長会会長
	松尾 文則	全国町村議会議長会会長
	神野 博史	第20回アジア競技大会推進愛知県議会議員連盟会長
	ふじた和秀	名古屋市会第20回アジア競技大会推進議員連盟会長
	山口 寿一	一般社団法人日本新聞協会会長
	田島まいこ	参議院議員
	安江 伸夫	参議院議員

役職名	氏名	所属等
参 与	杉崎 正美	公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー理事長
	竹内 圭介	株式会社朝日新聞名古屋本社代表
	小島 浩資	東海テレビ放送株式会社代表取締役社長
	田畑 裕	株式会社時事通信社名古屋支社支社長
	丸山 公夫	中京テレビ放送株式会社代表取締役社長
	狩野 隆也	名古屋テレビ放送株式会社代表取締役社長
	松下 寿昭	スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社代表取締役社長

報告事項2 大会エンブレムの募集について

大会エンブレムの募集については、以下のとおりとする。

募集期間：2019年10月19日（土）～11月20日（水）

応募資格等：

年齢	制限なし（2019年4月1日時点で18歳未満の方は、保護者の同意が必要）
国籍等	日本国籍の方または日本在住の方（日本国内の住民票をお持ちの方）
グループ参加	可能
経験・受賞歴	不問
応募点数	1人（1グループ）3点まで

応募方法：エンブレムデザイン募集サイトの専用フォームより応募

選 定：第20回アジア競技大会エンブレム選定委員会（以下の5名により構成）による複数回の審査を経て選定

役職名	氏 名	所属等
委員長	廣村 正彰	廣村デザイン事務所代表／グラフィックデザイナー
委 員	北川 啓介	名古屋工業大学大学院工学研究科教授／建築学者
委 員	田中 里沙	事業構想大学院大学学長／宣伝会議取締役副社長
委 員	森本 千絵	goen ^o 主宰／コミュニケーションディレクター／アートディレクター
委 員	矢野きよ実	パーソナリティー／書道家

（敬称略／委員は五十音順）

意見募集：最終の選定委員会の前に、絞り込んだ5案程度を公表し、2週間程度、広く意見募集を実施

最終決定：2020年3月開催予定の組織委員会理事会において決定

採用作品賞金（1点）：50万円（税込）

報告事項 3 職務執行状況について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第91条及び定款第26条第6項の規定に基づき、代表理事の職務の執行状況を、資料3のとおり報告する。

大会開催基本計画について

- 概要 大会開催基本計画は、組織委員会が開催準備・運営を行う上で必要となる各分野における基礎的な事項と、大まかな準備スケジュールを示した基本的な計画。組織委員会が開催都市契約に基づき、その設置後6か月以内(2019年11月末まで)にアジア・オリンピック評議会(OCA)に提出するもの。
- 作成方針 第17回アジア競技大会(2014/仁川)の大会開催基本計画を参考に作成
- 今後の予定 11月:OCAへ提出、その後各分野においてOCAと具体的な調整を開始

項番	分野	主な内容
第1章 概要		
1.1	原則及びマーク	大会シンボルの作成 >スローガンを2019年に、エンブレムを2020年に作成予定、マスコットは適切な時期に作成
1.2	大会の詳細情報	大会の基本的事項 >大会名称：第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)、会期：2026年9月19日(土)～10月4日(日) 参加者数：選手団(選手・チーム役員)の参加者数上限は15,000人(選手の上限は10,000人)
1.3	運営体制	大会準備を推進する体制 >OCAやアジアの各競技連盟など関係機関と大会準備を一体的に推進していくための協力体制及び組織委員会の体制
第2章 運営		
2.1	競技	競技の実施方針 >パリオリンピックの中核28競技及び追加競技、アジア5地域の競技、組織委員会及びOCA提案競技を実施 >実施競技や競技日程を定めた「競技プログラム」を開催2年前までにOCAに提出 >国毎の参加者数上限や申込の手順を定めた「競技エントリー方針」を開催2年前までに確立 >「表彰式の内容」や「表彰メダルのデザイン」を開催1年前までにOCAに提出 >会場近隣の医療機関と連携して医療体制を整え、安心・安全な医療サービスを提供
2.2	式典及び文化プログラム	大会精神の共有や文化交流 >瑞穂公園陸上競技場で開閉会式を実施 >「開閉会式のテーマやプログラム」を開催1年前までにOCAに提出 >聖火リレーは県内の中心都市部のみならず、より広範囲で大会の盛り上がり資するルートを検討 >大会関係者と県民・市民の交流を図る「文化プログラム計画」を開催2年前までにOCAに提出
2.3	競技大会施設	競技会場や選手団が滞在する施設 >競技会場の名称、整備方法、観客席数(パリオリンピック中核28競技の会場のうち現時点で仮決定とした35会場を記載) >既存のスポーツ施設を中心に活用 >全体で選手団最大15,000人のための宿泊施設を提供するとともに、競技会場まで45分以内でアクセスできるよう調整 >名古屋競馬場跡地にメイン選手村を整備。メイン選手村から離れた競技会場ではホテルや公共施設(研修所等)を利用するなど、選手村を分散
2.4	宿泊	大会関係者に提供する宿泊施設 >OCAファミリー(OCA会長始め役員、各国国内オリンピック委員会会長、国際競技連盟会長等)に最低限2,000室、技術役員に最大350室、メディアに最低限3,000人分の客室を確保・提供
2.5	競技大会要員	大会を支える人材の役割・確保 >運営要員は、各部門の必要人数や職種、職位、言語などを考慮し、適切な時期に募集 >要員の区分：組織委員会職員、技術役員、競技運営要員、大会支援要員、臨時要員、ボランティア

項番	分野	主な内容
2.6	競技大会の物品	<p>必要な物品の確保や競技用具等の輸出入</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶過去大会のデータ等をもとに大会運営に必要な物品の数量を把握 ▶選手や審判員等が使用する大会関連物資や機材などの通関手続の合理化、迅速化について、関係機関に協力を要請
2.7	輸送	<p>大会を円滑に実施するための輸送サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶大会関係者の出入国時に中部国際空港と宿泊施設等の間を移動するための適切な輸送を実施（到着/出発時の輸送） ▶開閉会式時の交通規制の実施などについて関係機関と協議・調整し、円滑な輸送を実施（開会式及び閉会式時の輸送） ▶宿泊施設・競技会場・練習会場間の選手団向け輸送、最寄駅・競技会場間の観客向け輸送を適切に実施（競技時の輸送） ▶交通管理システム、輸送経路等を定めた「輸送計画」を開催2年前までにOCAに提出
2.8	情報技術	<p>大会情報の的確かつ迅速な提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶「情報システムに関する提案」を開催3年前までにOCAに提示の上、競技結果などを提供するための情報システムを構築 ▶情報システムの運用を滞りなく行うため、安定した通信が確保できるネットワーク環境を整備し、必要な電力も確保
2.9	メディア	<p>大会映像の配信や取材環境の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶国際放送センター(IBC)とメインプレスセンター(MPC)を統合したメインメディアセンター(MMC)を名古屋市国際展示場に設置 ▶各競技会場や選手村にサブプレスセンター(SPC)を設置
2.10	国際関係	<p>定期的な会合を通じた関係者との情報共有及び協働体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶OCAが主催する国際会議に必要な応じて出席し、開催準備の進捗を報告
2.11	プロトコル	<p>国際儀礼に基づく要人への接遇</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶組織委員会内の宿泊、輸送及び式典の各専門部門と国際儀礼を統括する専門部門が緊密に連携し、国際儀礼サービスを実施
2.12	資格認定	<p>効率的かつ安全な大会関連施設への入退管理と査証の一時免除</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶所属団体や職務に応じてアクセスできる施設やゾーンを体系的に区分 ▶大会関係者の円滑な入国に資するため、関係機関と調整の上、身分証明及び査証の一時免除機能を有する資格認定カードを交付
2.13	警備	<p>大会前後及び期間中の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶競技会場、選手村、開閉会式、メディアセンター、OCAファミリーの滞在ホテル等で日本における治安状況を踏まえた適切な警備を実施
2.14	宣伝活動	<p>大会認知度や開催機運を高める取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶東京オリンピックなどの大規模イベントに合わせたPR、杭州アジア競技大会組織委員会(HAGOC)との共同PR動画の制作などによる共同PR、PRアンバサダーの任命・駐日外国公館等との協力・ニュースレター等刊行物の発行などによるPR
2.15	マーケティング	<p>大会の安定的運営に資するマーケティング活動計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶マーケティング代理店とともにスポンサーシッププログラム(メリット、対価等)及び戦略的な販売計画を策定 ▶開催都市のプロモーションに繋がるライセンス商品を開発するとともに、公式ショップの展開計画及びライセンス商品の販売計画を策定 ▶公明、公正、平等なチケット購入の機会を提供できるチケット販売の枠組みを策定

第 20 回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋） 開催基本計画



シェイク・ファハド・アル＝サバーハ、アジア・オリンピック評議会会長閣下

一般財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会（AINAGOC）を代表して、アジアにおけるスポーツの発展に向けた不断の努力に心より敬意を表するとともに、アジア40億人のスポーツの祭典として、第20回アジア競技大会を愛知・名古屋で開催することへの御支援に対し、厚く御礼を申し上げます。

大会準備の第一歩として、AINAGOCは第20回アジア競技大会の大会開催基本計画を策定いたしました。この計画は大会の方向性と幅広い分野の基本的枠組みを示したものであり、本計画に基づいて、個々の分野における具体的な実施内容の検討を進めてまいりますので、この大会開催基本計画に対する承認をお願い致します。

AINAGOCは、第20回アジア競技大会を成功に導くため、開催都市である愛知県、名古屋市及び公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）と緊密に連携しながら、大会開催に向けて全力で取り組んでまいります。

今後ともより一層の御支援と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年11月

一般財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会

会 長

大村秀孝

目次

第1章 概要	3
1.1 原則及びマーク	3
1.1.1 スローガン	3
1.1.2 エンブレム	3
1.1.3 マスコット	3
1.2 大会の詳細情報	4
1.3 運営体制	6
第2章 運営	7
2.1 競技	7
2.1.1 競技プログラム	7
2.1.2 競技管理	8
2.1.3 競技関連業務	8
2.1.4 競技用具	9
2.1.5 表彰式	9
2.1.6 医療サービス	10
2.1.7 アンチ・ドーピング	11
2.1.8 テストイベント	11
2.2 式典及び文化プログラム	13
2.2.1 開会式及び閉会式	13
2.2.2 聖火リレー	13
2.2.3 文化プログラム	14
2.3 競技大会施設	16
2.3.1 競技会場	16
2.3.2 選手村	35
2.4 宿泊	36
2.4.1 宿泊施設	36
2.5 競技大会要員	38
2.5.1 大会運営要員	38
2.6 競技大会の物品	40
2.6.1 物品管理	40
2.6.2 通関（税関）	41
2.7 輸送	42
2.7.1 輸送実施体制	42
2.7.2 到着/出発時の輸送	42
2.7.3 開会式及び閉会式時の輸送	42
2.7.4 競技時の輸送	42

2.7.5	輸送計画の策定	43
2.8	情報技術	45
2.8.1	アジア競技大会情報システム (AGIS)	45
2.8.2	電気通信サービス	45
2.8.3	気象情報	46
2.8.4	得点掲示板及び計時・試合記録	46
2.9	メディア	46
2.9.1	国際映像	47
2.9.2	報道 (新聞・雑誌・テレビ・インターネットメディア等)	47
2.9.3	メディア支援	48
2.10	国際関係	49
2.10.1	OCA との協力	49
2.10.2	NOC との協力	50
2.10.3	会議	50
2.11	プロトコル	52
2.11.1	場所別プロトコル	52
2.12	資格認定	54
2.12.1	資格認定の区分設定	54
2.12.2	入国手続と資格認定	54
2.12.3	資格認定センター	55
2.13	警備	55
2.13.1	実施体制	55
2.13.2	対策	56
2.14	宣伝活動	58
2.14.1	インターネットの活用	58
2.14.2	PR	58
2.14.3	報道対応	59
2.14.4	刊行物	60
2.14.5	インフォメーションセンター	60
2.15	マーケティング	61
2.15.1	スポンサー、ライセンス付与及び商品化計画	61
2.15.2	放送権	62
2.15.3	チケット	62

本計画は、先催大会の状況を始め 2019 年 10 月時点で入手可能な情報に基づいて定めたものであり、様々な要因により変更する場合があります。

第1章 概要

1.1 原則及びマーク

1.1.1 スローガン

- 2019年作成予定

1.1.2 エンブレム

- 2020年作成予定

1.1.3 マスコット

- 適切な時期に作成

1.2 大会の詳細情報

○ 大会名称

正式名称	日	第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）
	英	20th Asian Games Aichi-Nagoya 2026
略称	日	①愛知・名古屋2026アジア競技大会／②愛知・名古屋2026大会／ ③愛知・名古屋2026
	英	①Aichi-Nagoya 2026 Asian Games／②Aichi-Nagoya 2026 Games／ ③Aichi-Nagoya 2026

○ 組織委員会名称

正式名称	日	一般財団法人愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会 （公益法人移行後は、「一般財団法人」から「公益財団法人」に改称）
	英	Aichi-Nagoya Asian Games Organizing Committee
略称	英	A I N A G O C

○ 開催都市

- 愛知県、名古屋市

○ 大会期間

- 2026年9月19日（土）～10月4日（日）

○ 参加者数

- ・ 選手団（選手・チーム役員）上限 15,000 人（但し、選手上限は 10,000 人とする）
- ・ OCA ファミリー 1,000 人（想定）
- ・ 技術役員（TD¹、ITO²及び TO³） 2,500 人（想定）
- ・ メディア 10,000 人（想定）
- ・ ボランティア 13,000 人（想定）
- ・ その他、運営要員、スポンサーなどの人数が加算される。

¹ TD (Technical Delegate) 技術代表

² ITO (International Technical Officer) 国際技術役員

³ TO (Technical Officer) 国内技術役員

○ 施設

- 競技会場、練習会場、選手村、メインメディアセンター（MMC）など

○ 実施予定競技

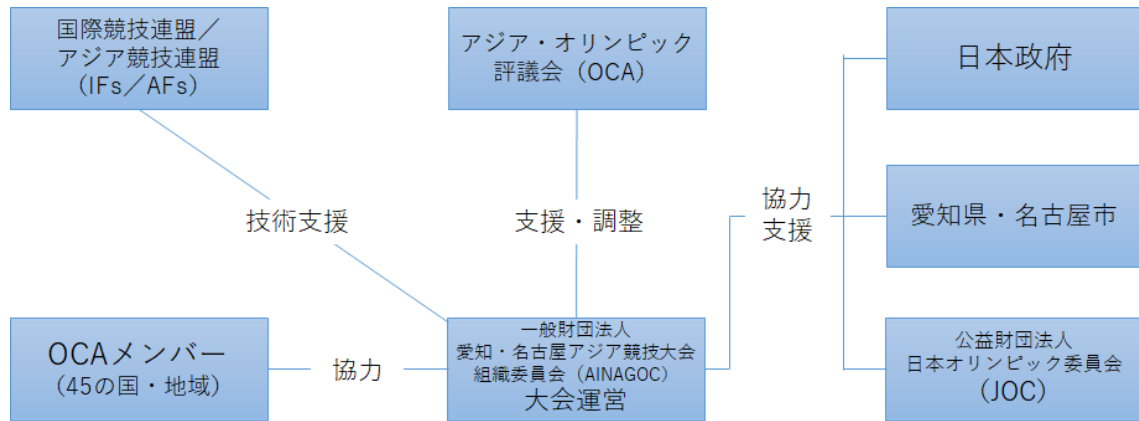
- 2.1.1 競技プログラム参照

○ その他のイベント

- 開閉会式、聖火リレー、文化プログラムなど

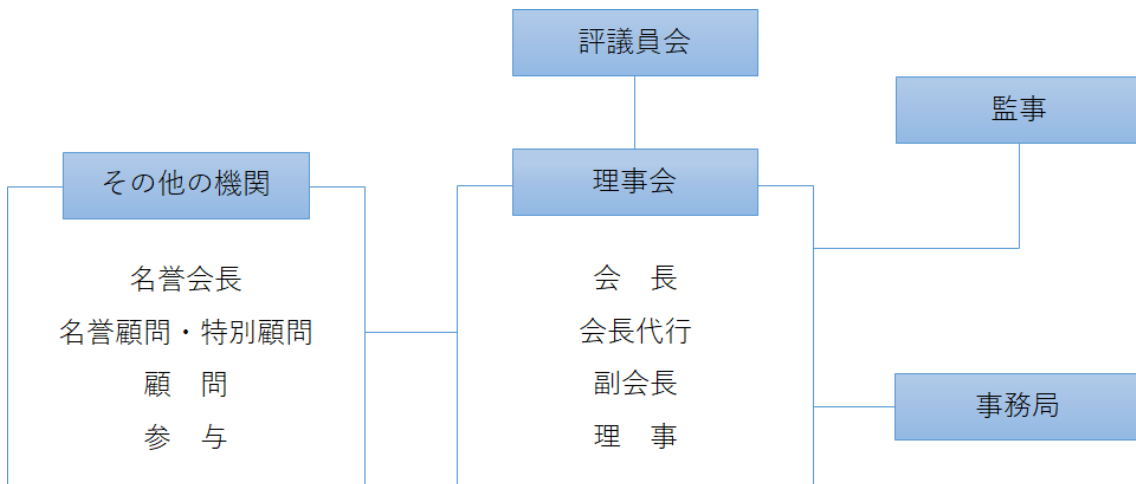
1.3 運営体制

○ 大会運営



○ 大会組織

- AINAGOC は各準備段階において必要な体制を整えます。
- ・ AINAGOC の状況（2019 年 5 月現在）



第2章 運営

2.1 競技

2.1.1 競技プログラム

○ 方針

- 競技プログラムは、開催都市契約書を遵守して決定します。
 - 2024年のパリオリンピック競技大会で実施される競技を実施します。
 - (1) オリンピック競技については、2017年9月15日に開催されたIOC総会で決定した28競技を実施します。
 - (2) パリオリンピック追加競技については、2020年12月に開催予定のIOC理事会で決定される競技を実施します。
 - OCAの管轄区域の5つの地域（中央アジア、東アジア、南アジア、東南アジア及び西アジア）での普及を考慮して決定される競技を実施します。
 - AINAGOCが自らの裁量で提案する最大2つの競技を実施します。
 - OCAとの協議の上、OCAが提案する最大2つの競技を実施します。
 - ※ 上記にかかわらず、競技を実施する上で困難な状況（例えば、適切な競技会場の欠如）がある場合には、OCAとの協議により、競技大会において当該競技を実施しないこととします。また、選手・チーム役員が15,000人を超えない範囲で実施競技をOCAと協議します。
- 競技プログラムは、競技大会開催の2年前までにOCAに提出します。

○ 競技数：未定

カテゴリー	競技数	競技
オリンピック競技	28	水泳、アーチェリー、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、ボクシング、カヌー・カヤック、自転車競技、馬術、フェンシング、サッカー、ゴルフ、体操、ハンドボール、ホッケー、柔道、近代五種、ボート、ラグビー、セーリング、射撃、卓球、テコンドー、テニス、トライアスロン、バレーボール、ウエイトリフティング、レスリング
パリオリンピック追加競技	未定	未定
OCAの管轄区域の5つ	5(各1)	【中央アジア】未定

の地域競技		【東アジア】未定 【南アジア】未定 【東南アジア】未定 【西アジア】未定
AINAGOC 提案競技	最大 2	未定
OCA 提案競技	最大 2	未定

○ デモンストレーション競技

- OCA と協議の上、競技大会期間中又は前に、競技大会の広報上の効果、デモンストレーション競技のコスト等の要素を考慮して、最大 2 つのデモンストレーション競技の実施を検討します。

2.1.2 競技管理

○ 競技計画

- アジア競技連盟（AFs）等との連絡調整を行い、競技会場計画、人員配置計画、競技進行計画等の計画を作成します。

○ 競技運営マニュアルの作成

- 競技運営日程、人員配置、会場レイアウト、会場警備、各種式典など、会場ごとの競技運営マニュアルを大会開催の 2 年前までに作成を開始します。

2.1.3 競技関連業務

○ 競技エントリー

- より効率的に大会運営を行うことができるようなエントリー方針を大会開催の 2 年前までに確立し、競技エントリーマニュアルを作成します。

○ テクニカルハンドブック

- 大会概要や競技情報などを網羅したテクニカルハンドブックを大会開催の 1 年前までに作成し、各国のオリンピック委員会（NOC）に配布します。
 - ・ 大会概要：AINAGOC、開催都市、資格認定、宿泊、出入国、医療サービスなど
 - ・ 競技情報：競技日程、種目、会場、競技規則、競技エントリー、競技用具、医療、アンチ・ドーピング、表彰式など

○ 競技関連発行物

- 必要に応じて選手・チーム役員等へ配布する競技関連発行物を検討します。

2.1.4 競技用具

○ 競技用具の調達

- 競技の運営に必要な用具の種類や数量を把握し、用具を確保します。

2.1.5 表彰式

○ 表彰式の運営

- 入賞者を称えるのにふさわしい雰囲気を実施します。
- 運営要員や表彰式アシスタントなどについては事前に研修を実施し、円滑に表彰式が執り行われるようにします。
- その他、表彰台、衣装、音楽など必要な物品についても、表彰式の雰囲気に適合したものを用意します。
- 表彰式の実施内容は、OCA の承認を得るため、メダルのデザインとともに競技大会開催1年前までにOCAに提出します。

○ メダル・賞状

- 表彰メダル、賞状（入賞6位まで）など必要な物品を作成します。
- デザインについては、開催都市である愛知・名古屋を想起させるものを検討します。

○ プレゼンター（贈呈者）

- OCAの会長やOCAから承認を受けた人物によりメダルの授与を行うこととします。
- 詳細はOCAとの協議により決定します。

○ 選手団旗・国歌

- 表彰式には、各選手団の選手団旗及び国歌を使用します。
- 選手団旗・国歌の内容については、選手団団長会議などを通じ、誤りがないことを確認します。

○ その他物品等

- メダル・賞状の他、愛知・名古屋の特産品など開催都市を想起させる副賞等の贈呈について

も検討します。

2.1.6 医療サービス

○ 概要

- 競技大会における用務の遂行に必要な範囲において、大会期間中に医療サービスを提供します。

○ 実施体制

- 医療サービスの体系的な提供に向けた基本方針や計画を有識者の意見を取り入れながら策定します。
- 会場近隣の医療機関及び関係機関と連携を図りながら医療体制を整え、安心・安全な医療サービスを提供します。

○ 選手村総合診療所（ポリクリニック）の設置・運営

- メイン選手村に設置する選手村総合診療所では、処置を施せる体制を整え、精密検査や追加措置が必要な場合に近隣の医療機関に搬送できる体制を確保します。

○ 医療救護所の設置・運営

- 分散する選手村、競技会場、メインメディアセンター及び本部ホテルに医療救護所を設置し、応急処置を行います。また、必要に応じて近隣の医療機関に搬送できる体制を確保します。

○ 公衆衛生管理体制の確立

- 食中毒などの事故や集団感染の発生に備えて、大会における保健衛生の基本的な対策を確立し、大会関係施設の衛生保持及び大会関係者の健康保持に努めます。

2.1.7 アンチ・ドーピング

○ 概要

- 競技会場及び選手村にドーピングコントロールステーションを設置します。
 - 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）と連携し、ドーピングコントロールの運用計画を策定します。
 - ドーピングコントロールに必要な人員を確保します。
 - 競技会場及び選手村において、適切かつ円滑にドーピングコントロールを実施します。

2.1.8 テストイベント

○ 概要

- 各種国際大会及び国内大会をテストイベントとして活用するなど、得られた課題や経験を活かして大会の運営能力の向上を図っていきます。
 - テストイベント候補を把握し、国際競技連盟／アジア競技連盟／国内競技連盟（IFs／AFs／NFs）と調整を行います。
 - テストイベントの実施計画を策定します。
 - 順次テストイベントを開催し、大会運営のノウハウを蓄積します。

❖ ロードマップ

2.1 競技	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026				
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	
2.1.1 競技プログラム																																	
競技プログラムの検討																																	
2.1.2 競技管理																																	
競技計画の検討																																	
競技運営マニュアルの作成																																	
2.1.3 競技関連業務																																	
競技エントリー方針の確立・マニュアル作成																																	
テクニカルハンドブックの作成・配布																																	
2.1.4 競技用具																																	
競技用具の調達																																	
2.1.5 表彰式																																	
プログラム、メダル・賞状デザイン検討																																	
メダル・賞状、必要物品の検討・制作																																	
2.1.6 医療サービス																																	
医療施設数、診療科、人員、サービスの検討																																	
医療・衛生関係機関との調整																																	
公衆衛生管理体制の検討																																	
2.1.7 アンチ・ドーピング																																	
情報収集、JADAとの連絡調整																																	
人員体制の検討																																	
2.1.8 テストイベント																																	
テストイベントの実施																																	

2.2 式典及び文化プログラム

○ 概要

- 芸術・文化分野の専門家の意見を踏まえて計画の検討・策定を行います。

2.2.1 開会式及び閉会式

○ 概要

- 会場：瑞穂公園陸上競技場（メインスタジアム、35,000人収容）
- 出席者：選手・チーム役員、OCAファミリー、メディア関係者及び観客等
- 実施内容：パフォーマンス及び式典

○ 制作体制

- 開・閉会式のテーマや基本的なコンセプトについては、大会スローガンや専門家の意見を踏まえて検討します。
- パフォーマンスや式典の内容などプログラムの検討・制作にあたっては、開・閉会式のテーマを踏まえたものとし、芸術分野の専門家などと協働して実施します。
- 開・閉会式のテーマやプログラムなどについては、OCAの承認を得るため、競技大会開催の1年前までにOCAに提出します。

2.2.2 聖火リレー

○ 概要

- ルート：愛知県内の中心都市部のみならず、より広範囲で大会の盛り上げに資するルートを検討します。
- リレー実施期間：聖火の採火～大会開会式まで
- 聖火点灯期間：大会開会式～大会閉会式まで
- 聖火リレーの実施内容やトーチのデザインなどについては、開催都市である愛知・名古屋を想起させるものを検討し、OCAに承認を得ます。

○ イベント

- 聖火の採火式典の際には、採火式などのイベントを実施する予定です。
- 採火式典の詳細な場所や内容は愛知・名古屋2026大会としてふさわしいものを検討しま

す。

- 聖火の通過する市町村においても、聖火を歓迎するイベントなどの実施を検討します。

○ ランナー

- アスリートや大会関係者の他、広く一般からも募集を行うことを検討します。
- 聖火ランナーについては、研修を実施し、円滑なリレーの実施を図ります。

2.2.3 文化プログラム

○ 概要

- 日本、愛知・名古屋の歴史、文化芸術、自然環境、産業といった様々な資源を紹介することにより、アジア各国の人々に地域の魅力を発信します。また、アジア域内の多様な文化や価値観を共有する取組みとして、大会関係者と県民・市民が交流を深めることができるイベントや協調的な国際関係及び友好関係の推進に貢献する文化プログラムを大会前後及び期間中に開催都市と連携して実施します。

実施主体	役割
開催都市	大会前・中・後に県内各地で文化プログラムを実施
AINAGOC	大会期間中に選手村及び競技会場で文化プログラムを実施

○ 実施計画の提出

- 文化プログラムの実施計画については、OCA の承認を得るため、競技大会開催の 2 年前までに OCA に提出します。

第 2 章 式典及び文化プログラム

❖ ロードマップ

2.2 式典及び文化プログラム	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026								
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4					
2.2.1 開会式及び閉会式																																					
運営検討																																					
式典コンセプト、テーマ、プログラム内容の検討																																					
リハーサル																																					
2.2.2 聖火リレー																																					
コンセプト検討																																					
運営検討																																					
トーチのデザイン選定・製造																																					
聖火リレー実施																																					
2.2.3 文化プログラム																																					
文化プログラムの検討																																					
文化プログラムの実施																																					

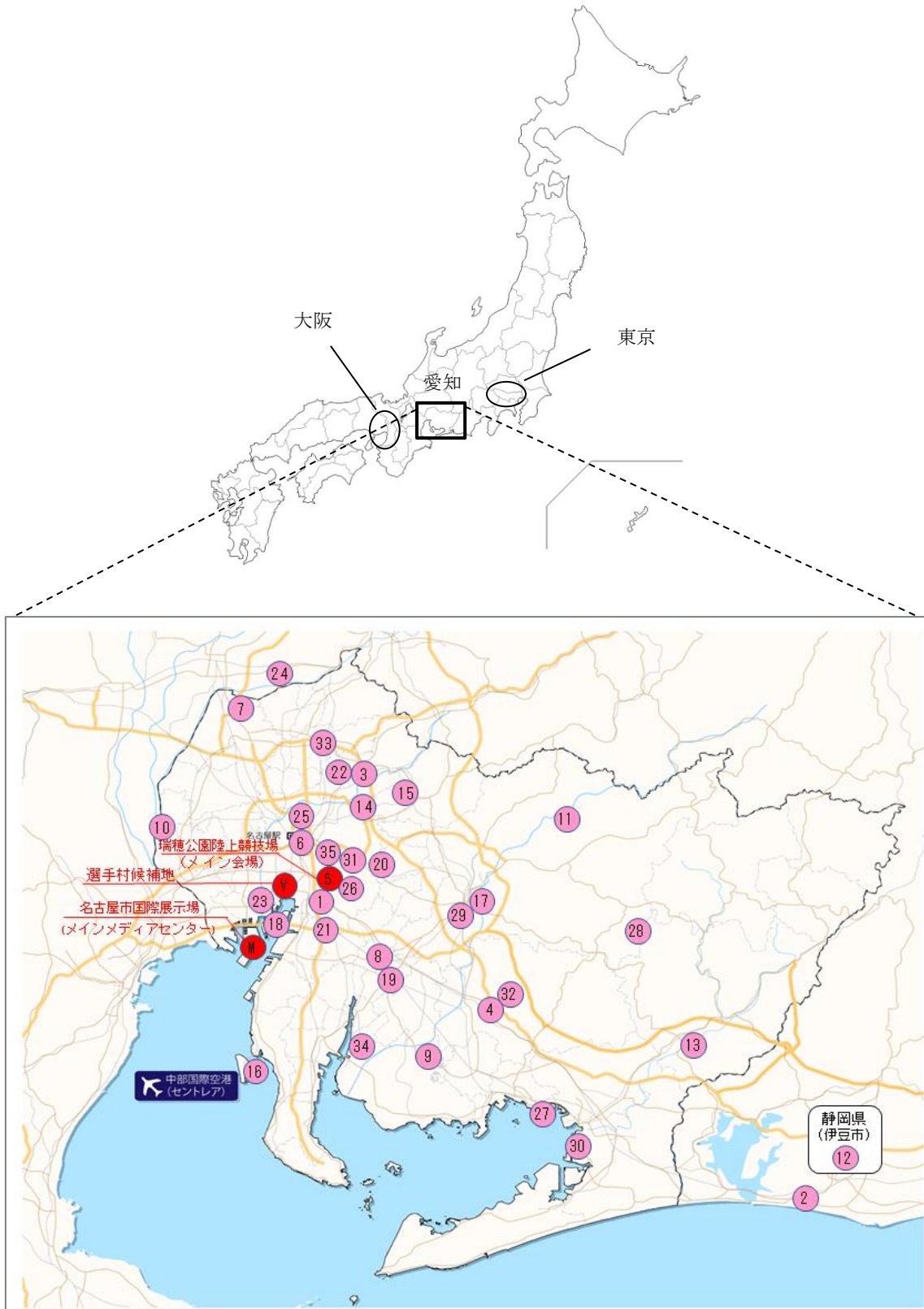
2.3 競技大会施設

2.3.1 競技会場

○ 概要

- 既存のスポーツ施設を中心に活用します。
- 選手の宿泊施設から競技会場まで 45 分以内でアクセスできるよう調整します。
 - 競技会場数：35 会場
(パリオリンピック中核 28 競技の会場のうち現時点で仮決定とした会場)
- 競技会場の調査を実施し、各会場の座席計画（VIP やメディアなどのゾーニング等）を策定します。
- 大会運営用としてトランシーバーなどの無線通信機器を活用できるよう、無線機器の周波数割当を申請します。
- 観客がスマートフォンなどの携帯端末を通じて、大会情報を入手できるようにするため、無線 LAN サービスの導入を検討します。

○会場マップ



○競技会場一覧

	競技	種別	競技会場
1	水泳	競泳／飛込	① 名古屋市総合体育館 [レインボープール]
		アーティスティックスイミング	② 古橋廣之進記念浜松市総合水泳場
		水球	③ 春日井市温水プール
		マラソンスイミング	－ 調整中
2	アーチェリー		④ 岡崎中央総合公園多目的広場他
3	陸上競技	(トラック／フィールド)	⑤ 瑞穂公園陸上競技場
		(マラソン)	⑤ 瑞穂公園陸上競技場 (都心コース)
		(競歩)	⑥ 愛知県庁・名古屋市役所周辺コース
4	バドミントン		⑦ 一宮市総合体育館
5	バスケットボール	5×5	⑧ ウイングアリーナ刈谷 － 調整中
		3×3	－ 調整中
6	ボクシング		⑨ 西尾市総合体育館
7	カヌー ・カヤック	スプリント	⑩ 長良川国際レガッタコース
		スラローム	⑪ 矢作川カヌースラロームコース
8	自転車競技	トラックレース	⑫ 伊豆ベロドローム
		ロードレース	⑬ 新城市内発着コース
		マウンテンバイク	⑭ 小幡緑地
		BMXレース	－ 調整中
		BMXフリースタイル	－ 調整中
9	馬術	馬場馬術／総合馬術／障害馬術	⑮ 愛知県森林公園
10	フェンシング		⑯ 愛知県国際展示場

第2章 競技大会施設

競技	種別	競技会場
11 サッカー		⑰ 豊田スタジアム
		⑱ 名古屋市港サッカー場
		⑲ ウェーブスタジアム刈谷
		他の県内会場並びに岐阜県、静岡県及び三重県内の会場の調整を進めるとともに、関西圏内の会場での実施を検討中
12 ゴルフ		⑳ 愛知カンツリー倶楽部東山コース
13 体操	体操／新体操／トランポリン	㉑ 名古屋市総合体育館 [レインボーホール]
14 ハンドボール		㉒ 春日井市総合体育館
		㉓ 名古屋市稲永スポーツセンター
15 ホッケー		㉔ 岐阜県グリーンスタジアム
16 柔道		㉕ 愛知県新体育館
17 近代五種	(レーザーラン／馬術)	⑮ 愛知県森林公園
	(フェンシング)	㉒ 春日井市総合体育館
	(水泳)	③ 春日井市温水プール
18 ボート		⑩ 長良川国際レガッタコース
19 ラグビー		㉖ 瑞穂公園ラグビー場
20 セーリング		㉗ 海陽ヨットハーバー
21 射撃	(ピストル／ライフル／クレー)	㉘ 愛知県総合射撃場
22 卓球		㉙ スカイホール豊田
23 テコンドー		⑳ 豊橋市総合体育館
24 テニス		㉑ 東山公園テニスセンター
25 トライアスロン		－ 調整中
26 バレーボール	バレーボール	㉒ 岡崎中央総合公園総合体育館
	ビーチバレーボール	㉓ 小牧市スポーツ公園総合体育館
		㉔ 碧南緑地ビーチコート
27 ウエイトリフティング		㉕ 名古屋市中小企業振興会館
28 レスリング	フリースタイル／グレコローマンスタイル	㉖ 愛知県新体育館

※上記の会場はパリオリンピックで実施される種別の決定状況や新たな施設の整備等により、今後変更となる可能性があります。

1


水泳

	競技会場	①名古屋市総合体育館 [レインボープール] (競泳/飛込)
	整備方法	既存
	観客席数	3,500 席
	競技会場	②古橋廣之進記念浜松市総合水泳場 (アーティスティックスイミング)
	整備方法	既存
	観客席数	2,296 席
	競技会場	③春日井市温水プール (水球)
	整備方法	既存
	観客席数	606 席
会場調整中	競技会場	調整中 (マラソンスイミング)
	整備方法	—
	観客席数	—

2	アーチェリー
---	--------

	競技会場	④岡崎中央総合公園多目的広場他
	整備方法	既存
	観客席数	未定

3	陸上競技
---	------

	競技会場	⑤瑞穂公園陸上競技場 (トラック/フィールド)
	整備方法	改築
	観客席数	35,000 席 (仮設を含む)
	競技会場	⑤瑞穂公園陸上競技場 (都心コース) (マラソン)
	整備方法	改築
	観客席数	35,000 席 (仮設を含む)
会場調整中	競技会場	⑥愛知県庁・名古屋市役所周辺コース (競歩)
	整備方法	—
	観客席数	未定

※瑞穂公園陸上競技場の写真はイメージ図

4

バドミントン

	競技会場	⑦一宮市総合体育館
	整備方法	既存
	観客席数	2,002 席

5

バスケットボール

	競技会場	⑧ウイングアリーナ刈谷 (5×5)
	整備方法	既存
	観客席数	1,576 席
会場調整中	競技会場	調整中 (5×5)
	整備方法	—
	観客席数	—
会場調整中	競技会場	調整中 (3×3)
	整備方法	—
	観客席数	—

6

ボクシング

	競技会場	⑨西尾市総合体育館
	整備方法	既存
	観客席数	1,508 席

7

カヌー・カヤック

	競技会場	⑩長良川国際レガッタコース (スプリント)
	整備方法	既存
	観客席数	未定
	競技会場	⑪矢作川カヌー・スラロームコース (スラローム)
	整備方法	既存
	観客席数	未定

8

自転車競技

	競技会場	⑫伊豆ベロドローム (トラックレース)
	整備方法	既存
	観客席数	1,800 席
会場調整中	競技会場	⑬新城市内発着コース (ロードレース)
	整備方法	—
	観客席数	未定
	競技会場	⑭小幡緑地 (マウンテンバイク)
	整備方法	仮設
	観客席数	未定
会場調整中	競技会場	調整中 (BMXレース)
	整備方法	—
	観客席数	—
会場調整中	競技会場	調整中 (BMXフリースタイル)
	整備方法	—
	観客席数	—

9

馬術

	競技会場	⑮愛知県森林公園
	整備方法	既存（馬場馬術・総合馬術（クロスカントリー除く）・障害馬術） 仮設（総合馬術（クロスカントリー））
	観客席数	未定

10

フェンシング

	競技会場	⑯愛知県国際展示場
	整備方法	既存
	観客席数	未定

11

サッカー

	競技会場	⑰豊田スタジアム
	整備方法	既存
	観客席数	44,400 席
	競技会場	⑱名古屋市港サッカー場
	整備方法	既存
	観客席数	6,700 席
	競技会場	⑲ウェーブスタジアム刈谷
	整備方法	既存
	観客席数	2,602 席

※他の県内会場並びに岐阜県、静岡県及び三重県内の会場の調整を進めるとともに、関西圏内の会場での実施を検討中

12 ゴルフ

	競技会場	⑳愛知カンツリー倶楽部 東山コース
	整備方法	既存
	観客席数	未定

13 体操

	競技会場	㉑名古屋市総合体育館 [レイン ボ－ホール]
	整備方法	既存
	観客席数	5,000 席

14

ハンドボール

	競技会場	⑳春日井市総合体育館
	整備方法	既存
	観客席数	2,024 席
	競技会場	㉑名古屋市稲永スポーツセンター
	整備方法	既存
	観客席数	2,232 席

15

ホッケー

	競技会場	㉒岐阜県グリーンスタジアム
	整備方法	既存
	観客席数	1,630 席

16	柔道
----	----

	競技会場	⑮愛知県新体育館
	整備方法	新築
	観客席数	未定

※写真はイメージ図

17	近代五種
----	------

	競技会場	⑮愛知県森林公園 (レーザーラン／馬術)
	整備方法	仮設
	観客席数	未定
	競技会場	⑳春日井市総合体育館 (フェンシング)
	整備方法	既存
	観客席数	2,024 席

	競技会場	③春日井市温水プール（水泳）
	整備方法	既存
	観客席数	606席

18	ボート
----	-----

	競技会場	⑩長良川国際レガッタコース
	整備方法	既存
	観客席数	未定

19	ラグビー
----	------

	競技会場	⑳瑞穂公園ラグビー場
	整備方法	既存
	観客席数	11,900席

20

セーリング

	競技会場	㉗海陽ヨットハーバー
	整備方法	既存
	観客席数	未定

21

射撃

	競技会場	㉘愛知県総合射撃場
	整備方法	既存
	観客席数	未定

22

卓球

	競技会場	㉙スカイホール豊田
	整備方法	既存
	観客席数	3,470 席


23

テコンドー

	競技会場	㊸豊橋市総合体育館
	整備方法	既存
	観客席数	2,000 席

24

テニス

	競技会場	㊸東山公園テニスセンター
	整備方法	既存
	観客席数	3,000 席 *センターコート

25

トライアスロン

会場調整中	競技会場	調整中
	整備方法	—
	観客席数	—

26

バレーボール

	競技会場	⑳岡崎中央総合公園総合体育館（バレーボール）
	整備方法	既存
	観客席数	約 2,620 席
	競技会場	㉑小牧市スポーツ公園総合体育館（バレーボール）
	整備方法	既存
	観客席数	1,868 席
	競技会場	㉒碧南緑地ビーチコート（ビーチバレーボール）
	整備方法	既存
	観客席数	未定

27

ウエイトリフティング



競技会場	㊸名古屋市中小企業振興会館
整備方法	既存
観客席数	未定

28

レスリング



競技会場	㊸愛知県新体育館
整備方法	新築
観客席数	未定

※写真はイメージ図

2.3.2 選手村

○ 概要

- 名古屋市港区の名古屋競馬場跡地に安心・安全・快適に滞在できるメイン選手村を整備します。メイン選手村から離れた競技会場における選手・チーム役員の選手村については、ホテルや公共施設（研修所等）を選手村として利用するなど、選手村を分散します。

○ 宿泊施設

- 全体で選手・チーム役員最大 15,000 人のための宿泊施設を提供します。

○ 選手村の諸機能

- メイン選手村内には、選手にとって最適なコンディションを確保できる宿泊室を用意します。また、ダイニングホールやトレーニング施設、娯楽施設、礼拝用施設、総合診療所（ポリクリニック）、NOC サービスセンター、輸送センター、ウェルカムセンター等、選手・チーム役員が利用しやすく快適に滞在することができる施設を提供します。
- 分散する選手村では、宿泊室の他、ダイニングホール等、選手・チーム役員が利用しやすく快適に滞在することができる施設を提供します。

○ 選手村の運営

- 部屋や会議室の割り振りは政治的、文化的、宗教的な特徴等に配慮します。
- 資格認定カードによるアクセスコントロールを行います。
- 食文化や宗教に配慮した栄養価の高い食事を提供します。

❖ ロードマップ

2.3 競技大会施設	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
2.3.1 競技会場																																
競技会場・練習会場の調整・決定																																
2.3.2 選手村																																
メイン選手村：施設の検討・設計																																
メイン選手村：施設の工事																																
分散する選手村：候補地の検討・設計																																
分散する選手村：施設の工事																																
ホテルの仮契約																																
ホテルとの契約																																
選手村機能の検討																																
選手村運営の検討																																

2.4 宿泊

2.4.1 宿泊施設

○ 概要

- 大会関係者に対し、適切な宿泊施設を提供します。
- 宿泊施設の確保については、業界団体や旅行会社などと連携し、大会関係者を受け入れる体制やシステムを構築します。
- 宿泊施設では、宿泊者に対して必要な情報を伝える体制を構築します。

○ 宿泊対象者

- OCA ファミリー
 - 大会公式ホテルに必要な機能を考慮し、名古屋市内に宿泊施設を用意します。大会公式ホテルの1つを本部ホテルとし、本部ホテルには大会期間中に打ち合わせスペースを設

第2章 宿泊

置します。また、本部ホテルあるいは本部ホテルに近接したホテルにおいて、各種会議を開催できる体制を整えます。

- ・ OCA ファミリーのため、最低限 2,000 室を提供します。また、無料で提供される者の範囲は、OCA と AINAGOC の協議により、決定します。
- ・ なお、OCA ファミリーの宿泊者数については、大会開催の 1 年前までに OCA から提供されるものとします。
- 技術役員
 - ・ 各競技会場への移動を考慮し、競技会場周辺部に宿泊施設を配置し、認定を受けた技術役員のため、最大 350 室を確保します。
 - ・ なお、認定を受けた技術役員の宿泊者数については、大会開催の 1 年前までに OCA から提供されるものとします。
- メディア
 - ・ 認定を受けた全てのメディアのため、最低限 3,000 人を収容できる適切な宿泊施設を有料で提供します。メディア施設への移動を考慮し、名古屋市内に宿泊施設を配置します。
 - ・ なお、認定を受けたメディアの宿泊者数については、大会開催の 1 年前までに OCA から提供されるものとします。

○ 名古屋市内の宿泊施設（2018 年 3 月時点）

- 政府登録国際観光ホテル： 15 施設（部屋数 洋室： 4,708 室、和室： 8 室、和洋室： 3 室）
- 政府登録国際観光ホテルを除く宿泊施設： 125 施設（部屋数 洋室： 19,489 室、和室： 592 室、和洋室： 171 室）

【参考】今後建設予定の宿泊施設（2018 年 10 月時点）

12 施設、総客室数：約 2,000 室

○ 名古屋市以外（県外は除く）の宿泊施設

- 政府登録国際観光ホテル： 12 施設（部屋数 洋室： 1,444 室、和室： 89 室、その他： 17 室）

❖ ロードマップ

2.4 宿泊	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026				
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	
2.4.1 宿泊施設																																	
使用ホテルの検討調整																																	
ホテルの仮契約																																	
ホテルとの契約																																	

2.5 競技大会要員

2.5.1 大会運営要員

○ 概要

- 競技大会の運営要員は、各部門の必要人数や職種、職位、言語などを考慮し、適切な時期に募集します。また、能力を最大限発揮するために必要な研修を行います。
- 要員は、AINAGOC 職員、技術役員、競技運営要員、大会支援要員及び必要に応じて臨時要員を採用します。

要員区分	採用方針等
AINAGOC 職員	行政組織や企業からの派遣、又は直接採用された者で構成され、大会運営の中核として業務を処理します。
技術役員	審判員や計時係等であり、開催国の NFs によって任命され、IFs 又は AFs の承認を条件とします。AINAGOC は、OCA の承認を得て、審判団の構成のため、IFs 及び AFs と協議します。役員は、関係する IFs 及び AFs の規則の下で適格でなければなりません。
競技運営要員	専門知識と経験を有する者を競技運営要員として確保します。国内の競技団体、公的機関、病院、各種団体及びその他の関連機関などの推薦を受けた者から確保します。
大会支援要員	作業にボランティアを割り当てられない分野には、愛知県及び名古屋市などの行政職員や、関係機関から確保します。
臨時要員	通訳など他の要員が提供できない専門知識やスキルを要する分野の業務がある場合は、臨時要員を確保します。

第2章 競技大会要員

ボランティア	優秀な人材を募集するとともに、大学、ボランティア団体、市民団体及び企業の専門技能を持った人材を確保できるよう計画します。
--------	--

❖ ロードマップ

2.5 競技大会要員	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
2.5.1 大会運営要員																																
要員体制の検討・確保																																
ボランティア体制の検討・確保																																

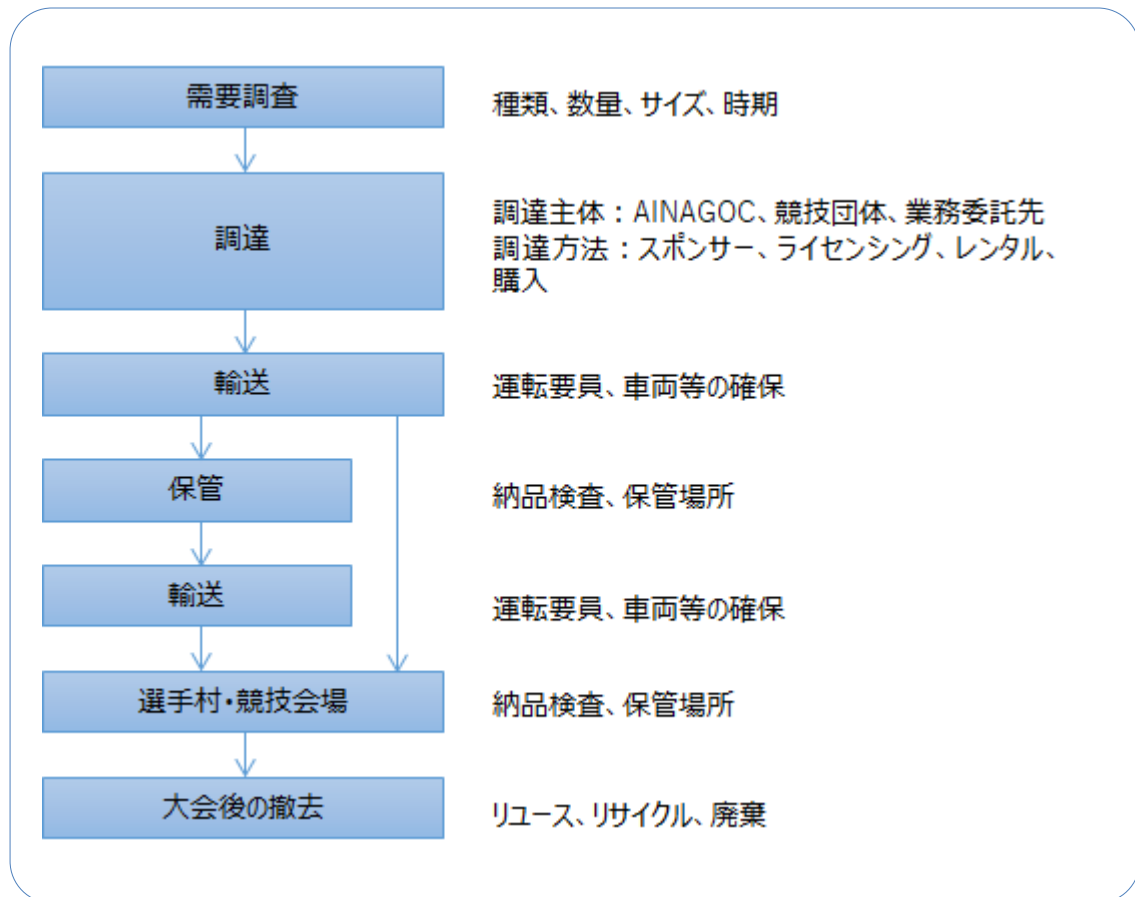
2.6 競技大会の物品

○ 概要

- 過去大会のデータ等をもとに大会運営に必要な物品の数量を把握します。
- 調達、保管、輸送及び撤去に関わる経費、業務の負担が少なくなるよう、入札やスポンサーシッププログラムを介した物品及びサービスの調達方法を検討します。

2.6.1 物品管理

- 次のステージ毎に物品の体系的管理及び運用を行います。



2.6.2 通関（税関）

○ 通関

- 日本国の法令に基づく通関手続を実施します。
- 選手・チーム役員、審判員等が使用する大会関連物資及び機材並びにメディアの使用する物資及び機材等に係る通関手続の合理化、迅速化について、関係機関に協力を要請します。
- 銃、弾薬等の特別な品目及び馬術競技のための馬の容易かつ迅速な輸出入のために必要な措置について関係機関と協議します。
- 通関に関するマニュアルを作成し、関係者に配付します。

○ 関税

- 関係機関に対して、必要な器材や必需品が関税の支払いなく輸送されることを保証するよう働きかけます。

❖ ロードマップ

2.6 競技大会の物品	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
2.6.1 物品管理																																
需要調査・検討																																
保管場所・物品の調達																																
2.6.2 通関（税関）																																
関係機関との調整																																
通関マニュアル作成・配布																																

2.7 輸送

○ 概要

- 大会関係者に対し、円滑な輸送サービスを提供します。
- 円滑な輸送サービスの提供に向けて、交通事業者など各関係機関とも協働し、輸送計画の検討・策定を行います。
- 運転要員や車両及び車両待機場の確保に向けて必要な取組を進めます。

2.7.1 輸送実施体制

- 大会関係車両の移動状況やリアルタイムの交通情報を把握し、交通事故等、不測の事態においても、遅滞なく各会場に到着できるよう適切に誘導できる体制を構築します。
- 輸送サービス提供期間において、全般の判断機能及び輸送に関する各種サービスの手配管理を行う輸送本部を設置し、各会場等との連絡・調整を行い、円滑な輸送サービスを提供します。
- 交通事業者等の各関係機関と協力体制を構築し、適切な輸送サービスの提供を実施します。
- 大会関連施設周辺の交通の特性を踏まえ、大会に係る円滑な輸送の実現と都市活動の安定が図られるよう交通需要マネジメントについて計画します。

2.7.2 到着/出発時の輸送

- 大会関係者の出入国時に中部国際空港と選手村や宿泊施設等との間を移動するための適切な輸送サービスを提供します。

2.7.3 開会式及び閉会式時の輸送

- 開会式及び閉会式時には、一時的に交通量が増加するため、交通規制の実施などについて関係機関と協議・調整し、円滑な輸送を実現します。

2.7.4 競技時の輸送

○ 選手・チーム役員

- 選手・チーム役員の宿泊施設を起点として、競技日程及び練習日程に従い、各競技会場、練習会場間を移動するための車両の運行を計画し、適切な輸送サービスを提供します。

○ OCA ファミリー

- OCA ファミリーに対しては、各々の認定に応じた輸送サービスを提供するものとし、その範囲については、今後検討します。

○ 技術役員

- 技術役員の宿泊施設を起点として、競技日程及び練習日程に従い、各競技会場、練習会場間を移動するための車両の運行を計画し、適切な輸送サービスを提供します。

○ メディア

- メインメディアセンター、メディア関係者宿泊施設、競技会場間の車両等の運行を計画し、適切な輸送サービスを提供します。

○ 観客

- 輸送手段は、公共交通機関を基本とし、必要に応じ最寄駅と競技会場を結ぶシャトルバス等の輸送サービスも検討します。

2.7.5 輸送計画の策定

- 交通管理システム、輸送経路等について定めた輸送計画を策定し、競技大会開催の2年前までにOCAに提出します。
- この他、公共交通機関を利用した輸送システムについても併せて検討します。

❖ ロードマップ

2.7 輸送	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4				
2.7.1 輸送実施体制																																				
実施体制の検討																																				
輸送本部運用準備・設置																																				
交通需要マネジメントの検討・実施																																				
運転要員及び車両確保のための事業者との調整・確保																																				
2.7.2 到着／出発時の輸送																																				
空港利用計画の検討																																				
運用準備																																				
2.7.3 開会式及び閉会式時の輸送																																				
会場利用及び開閉会式輸送計画の検討																																				
運用準備																																				
2.7.4 競技時の輸送																																				
競技会場輸送計画の検討																																				
運用準備																																				
2.7.5 輸送計画の策定																																				
大会関係者・観客数、必要車両数の推計、輸送手段・ルート検討																																				
輸送計画の検討																																				
計画運用に係る調整																																				

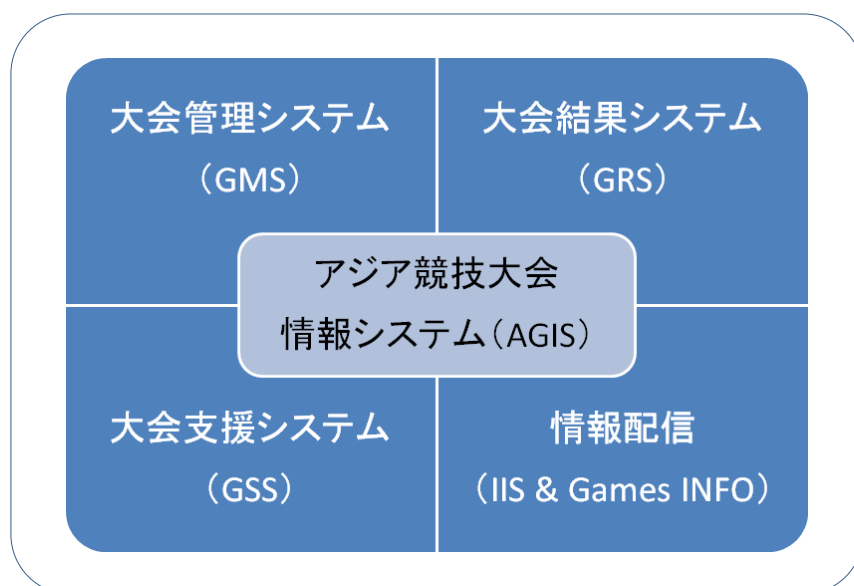
★OCA提出

2.8 情報技術

2.8.1 アジア競技大会情報システム（AGIS）

○ 概要

- 競技大会の運営支援や競技結果の収集・管理、パソコンやスマートフォンなどの媒体に競技結果を配信するためのシステムなどで構成する AGIS を開発・運用します。
- AGIS の構築・運用に必要な施設の設置を検討します。
- 競技大会開催の 3 年前までに情報システムに関する提案（開発・運用方針）を作成し、OCA に提示します。



2.8.2 電気通信サービス

- AGIS の運用を滞りなく行うため、安定した通信が確保できるようネットワーク環境を整備し、併せて必要な電力を確保します。

○ 情報セキュリティ

- 外部からの攻撃や侵入など情報セキュリティ上のリスクに備えて必要な対策を講じます。

⁴ IIS (Internet Interface System) インターネット向けの情報配信システム。Games INFO は大会関係者向けの情報配信システムのこと。

2.8.3 気象情報

- 大会運営の安全性確保や選手の戦略策定に資するため、気温や降水量等の気象情報を入手し、AGIS を通じて大会関係者や観客に提供します。

2.8.4 得点掲示板及び計時・試合記録

- 視認性が確保された得点掲示板、正確な計時・計測や迅速な判定を得るための機器並びに競技結果を入力・集約するための情報端末を競技会場に設置します。

❖ ロードマップ

2.8 情報技術	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4				
2.8.1 アジア競技大会情報システム																																
実態調査																																
要件定義・設計・開発																																
運用（一部先行稼働）																																
2.8.2 電気通信サービス																																
サービス内容検討																																
運用																																
2.8.4 気象情報																																
提供体制の検討																																

2.9 メディア

○ メインメディアセンター（MMC）

- 国際放送センター（IBC）とメインプレスセンター（MPC）を統合した一体的な施設としてメインメディアセンターを設置します。
 - ・ 設置場所：名古屋市国際展示場

2.9.1 国際映像

○ 概要

- アジア競技大会の感動や素晴らしさを伝えられるよう、国際映像制作体制を確立し、世界各国に向けて大会の様子を配信するための国際映像・音声を制作します。

○ 国際映像制作体制の確立準備

- 特定の国・地域に偏らないマルチラテラルな映像・音声を制作する国際映像制作体制の確立に向けて、撮影対象となる会場の調査、先催大会における映像・音声制作に係る実績調査などを行います。

○ 国際映像制作概案の策定

- 各競技の映像・音声の方針を定めた国際映像制作概案を策定します。

○ 国際放送センター（IBC）の設置及び運営

- 国際映像の分配及び配信、放送権者が制作する国・地域に特化した（ユニラテラル）映像・音声の制作及び本国への伝送支援などを行う IBC を設置し、運営します。

○ 世界放送者会議（World Broadcaster Meeting）

- 大会1年前を目処に放送権者を対象に世界放送者会議を開催します。
- メディア支援の内容の紹介や IBC 設置予定地、競技会場の見学などのベニューツアーを実施します。
- 放送権者からの要望や意見を収集し、大会準備に活用します。

2.9.2 報道（新聞・雑誌・テレビ・インターネットメディア等）

○ 概要

- 国内外の記者に対し、必要なサービスを提供し、報道活動における利便性の向上を図ります。
- 専門的な立場から各種アドバイスなどを行う報道分野の専門家と協働しながら、メディア支援計画等の検討等を行います。

○ メインプレスセンター（MPC）の設置及び運営

- 提供サービス
 - ・ 過去大会や類似大会を参考に、報道事業者に必要な施設を用意します。

- ・ 設置想定施設…プレスワークルーム、フォトワークルーム、記者会見場、レンタルオフィス、メディアラウンジ、インフォメーションデスクなど
- ・ 各施設において、電源、通信環境など作業のために必要な機能を提供します。

○ サブプレスセンター（SPC）の設置及び運営

- 概要
 - ・ 各競技会場や選手村に設置し、報道活動を支援します。
- 提供サービス
 - ・ 過去大会や類似大会を参考に、競技会場の規模やメディアのニーズも勘案し、必要な施設を提供します。
 - ・ 設置想定施設…ワークスペース、ミックスゾーン⁵など
 - ・ 記者会見場については、会場ごとに必要性を検討の上、設置の有無を決定します。
 - ・ 各施設において、電源、通信環境など作業のために必要な機能を提供します。

○ 世界報道会議（World Press Briefing）

- 大会1年前を目処に世界各国の報道関係者を集め、世界報道会議を開催します。
- メディア支援の内容の紹介や MPC 設置予定地、競技会場等大会関係施設の見学などのベニューツアーや観光ツアーを実施します。
- 報道関係者からの要望や意見を収集し、大会準備に活用します。

2.9.3 メディア支援

○ 情報提供

- 競技情報：競技日程、スタートリスト、競技結果等の情報を提供します。
- プレスリリース：競技情報以外の大会情報、OCA や AINAGOC などからの情報を提供します。
- 情報については、大会ウェブサイトなどの手段により速やかに提供します。

○ アクレディテーション

- 大会前の適切な時期に案内の送付及び受付などを行います。
- 詳細な日程・内容は大会全体の資格認定の計画に従うこととします。

⁵ ミックスゾーン メディアが競技を終えた選手にインタビューをすることができる、競技会場に用意された取材場所のこと。

第2章 国際関係

○ 言語サービス

- MMC や競技会場などにおいて、言語サービスを提供します。
- 対応言語については、メディアのニーズを踏まえ、検討します。

○ 必要物品の貸し出し

- 適正な価格のレートカードにより、必要物品を有償で貸出します。

❖ ロードマップ

2.9 メディア	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
2.9.1 国際映像																																
国際映像制作検討																																
国際放送センター（IBC）設置運営の検討																																
世界放送者会議（WBM）実施内容検討・準備																																
世界放送者会議（WBM）の開催																																
2.9.2 報道																																
プレスセンター（MPC・SPC）の運営検討																																
世界報道会議（WPB）実施内容検討・準備																																
世界報道会議（WPB）の開催																																
2.9.3 メディア支援																																
メディア支援の検討																																

2.10 国際関係

2.10.1 OCA との協力

- OCA 総会等 OCA が主催する国際会議に必要に応じて出席し、開催準備の進捗を報告します。
- OCA と AINAGOC の間の連絡体制を確立します。
- 2.10.3 に掲げる各種 OCA の会議（OCA 総会、OCA 理事会など）を手配することに協力します。

2.10.2 NOC との協力

- 各国の担当者を準備段階に応じて配置し、ネットワークを構築します。
- 言語文化や習慣を含め OCA 加盟団体について理解を深めます。
- OCA 総会等を通じて、NOC への情報発信や情報収集に努めます。NOC 選手団長会議等の機会を通じて、NOC への情報提供を行います。

2.10.3 会議

○ OCA 理事会

- 日 程：競技大会直前から大会期間終了までの間
- 出席者：OCA 理事等
- 開催地：大会公式ホテル、または AINAGOC が用意する場所

○ OCA 総会

- 日 程：競技大会直前から大会期間終了までの間
- 出席者：OCA 会員等
- 開催地：大会公式ホテル、または AINAGOC が用意する場所

○ OCA 医事委員会及びアンチ・ドーピング委員会、その他 OCA の会議

- 日 程：競技大会期間終了までの間（必要に応じて）
- 出席者：委員会委員等
- 開催地：AINAGOC が用意する場所

○ NOC 選手団長会議

- 日 程：競技大会前年、大会期間中
- 出席者：参加 NOC の選手団団長
- 開催地：AINAGOC が用意する場所

第2章 国際関係

○ 調整委員会及びフォローアップ・チームの会議

- 日 程：競技大会期間終了までの間
- 出席者：調整委員会委員等
- 開催地：AINAGOC が用意する場所

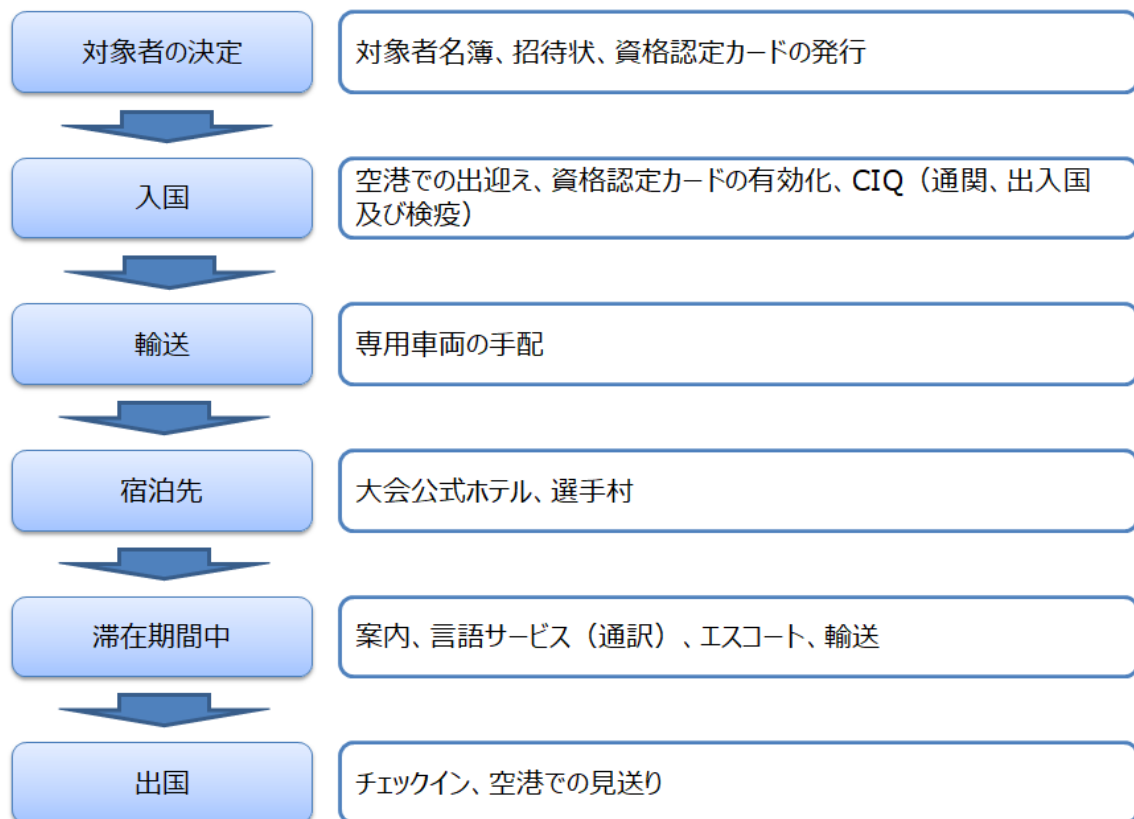
❖ ロードマップ

2.10 国際関係	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
2.10.1 OCAとの協力																																
OCA総会等国際会議への出席																																
進捗報告（2年前まで；随時報告）																																
進捗報告（2年前以降；四半期毎）																																
各種OCA会議への協力																																
2.10.2 NOCとの協力																																
NOCへの情報発信・情報収集																																
2.10.3 会議																																
OCA理事会																																
OCA総会																																
医事、アンチ・ドーピングその他OCA会議																																
NOC選手団長会議																																
調整委員会及びフォローアップ・チーム会議																																

2.11 プロトコル

○ 概要

- 国内外の招待客を早期に決定し、OCAとの協議の上、公式招待状を送付します。
- 国際儀礼の対象者に対して、入国時から出国時まで国際的な基本儀礼、マナーに基づいた接遇を行います。
- 宿泊、輸送及び式典の各専門部門と国際儀礼を統括する専門部門が緊密に連携することにより国際儀礼サービスを円滑に実施します。



2.11.1 場所別プロトコル

○ 大会公式空港（中部国際空港）

- 出迎えや見送り、エスコートなどのサービスを提供します。
- CIQ（通関、出入国及び検疫）を速やかに通過できるよう関係機関と調整し、対応します。

第2章 プロトコル

○ 大会公式ホテル・選手村

- 各々の認定に応じたプロトコルサービスを提供するものとし、その内容は今後検討します。
- インフォメーションデスクを設置し、専用車両の利用申し込みなどを受け付けます。

○ 開会式及び閉会式

- 円滑な入退場とセキュリティを両立するため、専用の出入口や動線、駐車場を設けます。
- VIP 席、VIP ラウンジを設けます。

○ 競技会場

- 円滑な入退場とセキュリティを両立するため、専用の出入口や動線、駐車場を設けます。
- インフォメーションデスクを設置し、競技情報の提供や、専用車両の利用申し込みなどを受け付けます。
- VIP 席、VIP ラウンジを設けます。

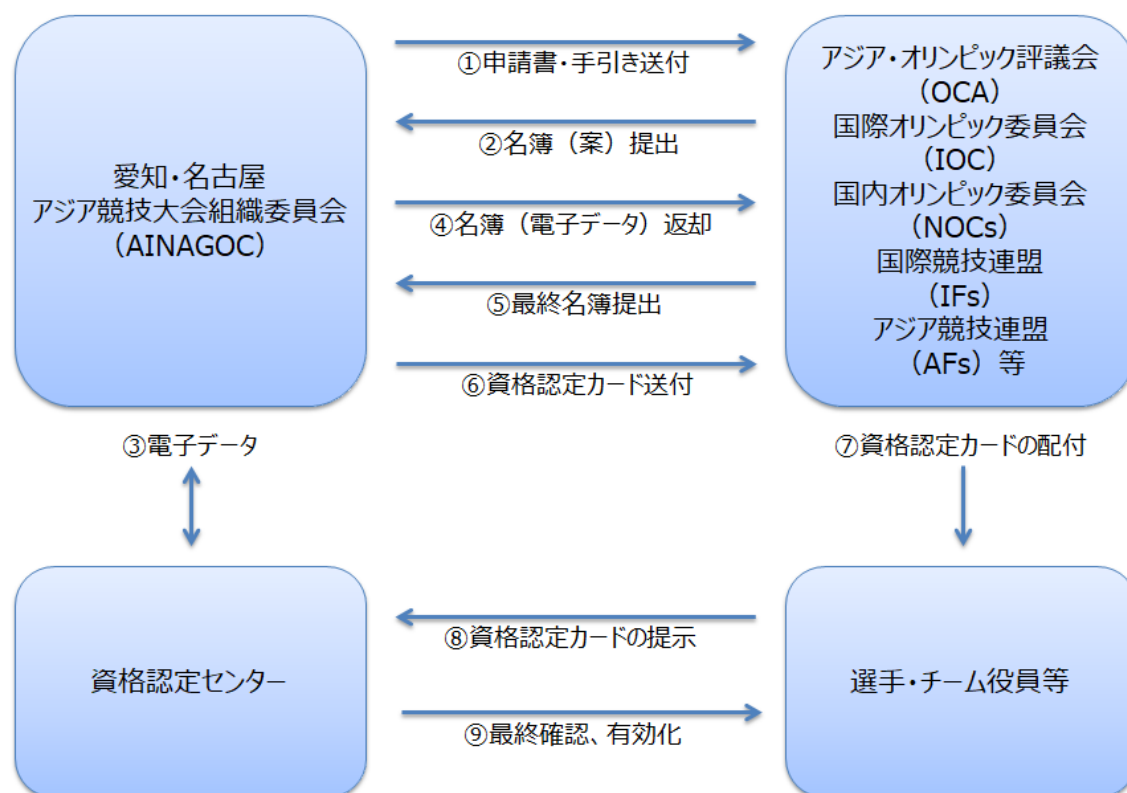
❖ ロードマップ

2.11 プロトコル	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
2.11.1 場所別プロトコル																																
プロトコルの検討																																
VIP対応の検討																																

2.12 資格認定

○ 概要

- 適切な資格を有する大会関係者のみが、適正な方法で大会関係施設内の必要なゾーンにアクセスできるよう管理を行い、大会運営において必要な役割を効率的かつ安全に果たせる仕組みを提供します。



2.12.1 資格認定の区分設定

- OCA 憲章に示された資格認定区分を基にして、所属団体や大会での職務などに応じてアクセスできる施設やゾーンを体系的に区分します。
- 業務の遂行のため臨時にアクセス権が必要となったものに対して、「ゲストパス」や「デイパス」など臨時パスを発行できる体制を整えます。

2.12.2 入国手続と資格認定

- 大会関係者の円滑な入国に資するため、資格認定カードへの身分証明（ID）機能の付与

第2章 警備

と査証の一時免除の実施について、関係省庁と協議します。

- 大会関係者の入国前に申請を受付します。

2.12.3 資格認定センター

- 資格認定カードの有効化や有効後の資格認定カードの再発行などの手続を行う資格認定センターを AINAGOC が指定する空港、選手村、MMC などの必要な施設に設置します。

❖ ロードマップ

2.12 資格認定	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026			
	01	02	03	04	01	02	03	04	01	02	03	04	01	02	03	04	01	02	03	04	01	02	03	04	01	02	03	04	01	02	03	04
2.12.1 資格認定の区分設定																																
資格認定区分・仕様の検討																																
2.12.2 入国手続きと資格認定																																
入国手続き等に関する関係省庁協議																																
資格認定カード申請受付・送付																																
2.12.3 資格認定センター																																
資格認定センターの検討・調整																																

2.13 警備

○ 概要

- 日本における治安状況を踏まえ、適切な警備計画を策定します。
- 警備計画の策定にあたっては、警察・消防など各種関係機関と調整し、検討を行います。
- 警備計画に基づき、警備員及び警備機器の確保を進めます。

2.13.1 実施体制

- 大会の実施時には警備に関する総括本部を設けるとともに、各競技会場を始めとする大会関係施設ごとに、現地拠点の設置を検討します。
- 競技会場、輸送、プロトコル部門などとも連携を取ることで、大会全体として、円滑な警備運営を実施します。

- 警察・消防等の各関係機関と協力体制を構築し、権限に応じた、適切な警備・対応を実施します。

2.13.2 対策

○ 競技会場

- 競技会場の内外に警備員等を配備します。
- 大会関係者と観客については、動線を分けるなどの対策を取り、事故や混乱の発生を防ぎます。
- 観客の入場においては、金属探知機などの警備機器を活用した検査や手荷物検査を実施することで危険物の持ち込みを防止します。また、関係者についても、これらの検査を実施します。
- 観客の大会関係者ゾーンへの立ち入りの禁止、VIPと観客の席を分けるなど、適切なゾーニングを実施するとともに、各ゾーンの境界には警備員等を配備してアクセスコントロールを行うなどの対策を講じます。

○ 選手村

- 選手村内外に警備員等を配備します。
- 選手村の入口にセキュリティチェックポイントを設けるなど、関係者以外の入場を防止するとともに、金属探知機などの警備機器を活用した検査や手荷物検査を実施することで危険物の持ち込みを防止します。
- 選手村のゾーニングに応じて警備を実施することとし、アクセスコントロールを行うなどの対策を講じます。

○ 開会式及び閉会式

- 多くのVIPの参加が見込まれ、観客数も多いことが予想されるため、十分な警備員や警備機器の配置を行います。

○ メディアセンター、大会公式ホテル等その他施設

- 施設の規模・内容や使用状況などに応じ、適切に警備員や警備機器を配備します。

○ VIP 警備

- 警察など関係機関との協議を行い、VIPに応じた適切な措置を講じます。
- 競技会場での観戦時や行事参加時には、観客と動線を分ける、観客席とゾーンを分けるなど

第2章 警備

の措置を取ります。また、必要に応じて警備の増加など警備体制を強化します。

○ 車両

- 大会関係車両については、各施設への出入りの際に、必要に応じて検査を行います。
- 会場によっては、車両について事前の許可制とすることなども検討し、一般車両の流入を防止します。

❖ ロードマップ

2.13 警備	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
2.13.1 実施体制																																
実施体制の検討					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
警察・消防等関係機関との調整																					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
総括本部運営準備																					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
総括本部設置・運営開始																													■	■	■	■
2.13.2 対策																																
警備計画の検討									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
競技会場警備図面の作成・修正																					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
警備員及び警備機器の確保																					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

2.14 宣伝活動

○ 概要

- 適切な時期に効果的な広報及び広告ができるよう、開催都市や OCA と連携しながら開催国と参加国に対して計画的な宣伝活動に取り組みます。

2.14.1 インターネットの活用

○ 公式 Web サイトの設置・運営

- 期間：2019 年～2026 年

○ SNS（Twitter、Facebook、Instagram、YouTube 等）用アカウントの運用

- 期間：2019 年～2026 年

○ 情報発信力のある媒体の活用

- 必要に応じ国際的に影響力のある媒体を活用して PR を行います。

2.14.2 PR

○ 国内 PR イベント

- 期間：2019 年～2026 年
- 主な内容：開催都市と連携して、国内の大規模イベント（東京オリンピック・パラリンピック大会を始めとする国際スポーツ大会など）に合わせた PR イベント、カウントダウンイベント、アジア競技大会（杭州大会）に合わせた PR イベント等を実施します。

○ シティドレッシング

- 期間：2025 年～2026 年
- 場所：主要アクセス道路、公共交通機関、競技会場周辺など
- 主な内容：開催都市と連携して、フラッグ、横断幕、カウントダウンボードの設置など広報及び広告の機会の確保に努めます。

○ 海外に向けた広報及び広告

第2章 宣伝活動

- 開催国を含めたアジア地域における広報及び広告活動のため、1,500 万米ドルの予算を確保し、広報及び広告の実施時期にあわせて OCA に支払い、OCA との協議のうえで広報及び広告を実施します。

○ OCA 総会等での PR

- PR ブースを設置し、大会の準備状況及び開催都市を紹介します。

○ 国際空港での PR

- 期間：2025 年～2026 年
- 対象：国際空港等
- 内容：空港内での PR を実施します。

○ PR アンバサダー

- 期間：2024 年～2026 年
 - ・ 国際的に知名度のある方を PR アンバサダーに任命し、その方を通じて大会概要及び開催都市を始めとする日本の魅力を紹介します。

○ 海外機関との協力

- 期間：2022 年～2026 年
- 対象：大使館など
 - ・ 駐日外国公館や日本の在外公館を始めとする機関に対し、Web サイトでの情報提供やチラシ配布など海外への情報発信を要請します。

○ 2022 年第 19 回杭州アジア競技大会組織委員会（HAGOC）との協力

- 期間：2019 年～2022 年
 - ・ HAGOC と連携し、双方の公式 Web サイトの活用や杭州、愛知・名古屋両大会の共同 PR 動画の制作、また、OCA 総会などの会議や PR イベントの機会などにより、共同での PR に取り組みます。

2.14.3 報道対応

- 期間：2019 年～2026 年
- 対象：主な国内及び国際メディア
- 内容：主な国内及び国際メディアを対象に下記の対応を行います。
 - ・ 国内・海外のスポーツ記者等の団体との協力関係を確立
 - ・ インターネットの配信サービスを活用した記者発表の実施

- ・ ファクトブックの作成及び配布

2.14.4 刊行物

○ ニュースレター

- 期間：2019年～2026年
- 大会の事前情報を伝えるためのニュースレターを作成します。
 - ・ 発行頻度：2019年～2023年 年1回以上
2024年～2026年 四半期に1回
- 大会期間中に発行するアジア競技大会新聞を作成します。

○ 大会ガイドブック

- 期間：2026年
- 大会ガイドブックを作成し、販売します。

○ 大会パンフレット

- 期間：2026年
- 大会パンフレットを作成し、広く配布します。

2.14.5 インフォメーションセンター

- 期間：2026年
- 競技会場、MPC等にインフォメーションセンターを設置し、大会パンフレット等の配布など大会に関する情報を提供します。

第2章 マーケティング

❖ ロードマップ

2.14 宣伝活動	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
2.14.1 インターネットの活用																																
公式Webサイトの設置・運用																																
2.14.2 PR																																
大規模イベントに合わせたPRイベント、カウンタウンイベント等の検討・実施																																
東京オリンピック・パラリンピックに合わせた広報及び広告																																
杭州大会との共同PRの検討・実施																																
2.14.3 報道対応																																
報道対応																																
2.14.4 刊行物																																
ニュースター																																
大会ガイドブック																																
大会パンフレット																																
2.14.5 インフォメーションセンター																																
インフォメーションセンター設置																																

2.15 マーケティング

○ 全体計画の策定

- OCA 及びマーケティング代理店より、過去の AGOC マーケティングの情報収集を行い、マーケティングプログラムを策定します。
- マーケティングプログラムに基づく収入目標を達成するための活動計画を策定します。

2.15.1 スポンサー、ライセンス付与及び商品化計画

○ スポンサー

- AGOC マーケティング代理店とともに、スポンサーシッププログラム（スポンサーメリット、対価等）

及び戦略的な販売計画（市場分析、カテゴリー区分等）を策定します。

- AGOC スポンサー候補との交渉及び契約締結を行います。
- スポンサーの権利行使が競技大会のムーブメントに繋がるようスポンサーとの良好な関係を構築します。

○ 知的財産権の保護

- 競技大会商標の国内商標登録を実施するとともに、OCA 及び OCA マーケティング代理店と協議の上、必要に応じて海外における商標登録を実施し、競技大会商標に関する知的財産権を確立します。
- 知的財産プログラムを策定し、アンブッシュ・マーケティング対策を実施します。

○ ライセンス付与及び商品化計画

- 公式ショップの展開計画を策定し、ライセンス商品販売計画を策定します。
- OCA 及び OCA マーケティング代理店との協議により、海外でのライセンス商品販売について、OCA 及び OCA マーケティング代理店と協力し、計画を策定します。
- ライセンス商品展開の一つとして、開催都市のプロモーションや地場産業の振興にも繋がるライセンス商品を開発します。

2.15.2 放送権

○ 放送権の販売

- OCA マーケティング代理店との調整を行い、関係を構築します。
- 放送権契約の内容を検証します。
- OCA 及び OCA マーケティング代理店を通じて、候補放送局との協議及び契約締結を行います。

2.15.3 チケット팅

○ チケットの販売

- 公明、公正、平等なチケット購入機会を提供できるチケット販売の枠組みを策定します。
- OCA 及び OCA マーケティング代理店と協議の上、競技大会参加 NOC 領域内でのチケット販売プログラムを策定し、販売システムを構築します。

○ 競技会場座席の管理

第2章 マーケティング

- 会場毎の競技運営計画、放送・メディア計画を踏まえつつ、販売可能な座席計画を策定します。
- 販売可能な座席計画（ゾーニング）に基づき、カテゴリー分けを行い、販売価格を決定します。
- 障がい者やファミリー観戦者に配慮した配席計画等を策定します。

❖ ロードマップ

2.15 マーケティング	2019				2020				2021				2022				2023				2024				2025				2026							
	01	02	03	04	01	02	03	04	01	02	03	04	01	02	03	04	01	02	03	04	01	02	03	04	01	02	03	04	01	02	03	04	01	02	03	04
2.15.1 スポンサー、ライセンス付与及び商品化計画																																				
知的財産プログラムの策定																																				
知的財産プログラムの実施																																				
2.15.2 放送権																																				
OCAマーケティング代理店との協力・調整																																				
放送局との契約																																				
2.15.3 チケットینگ																																				
チケット代理店の選定																																				
チケット代理店とチケット販売プログラムの検討																																				
座席カテゴリー、価格の決定																																				
チケット販売																																				

評議員会の議題

第 1 号議案 定款の一部変更について

定款の一部を次のとおり変更する。

【定款】

変更案	現行定款
<p>(役員の解任)</p> <p>第 29 条 理事又は監事が次の各号のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。</p> <p>(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。</p> <p>(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。</p> <p><u>(削除)</u></p> <p><u>(削除)</u></p>	<p>(役員の解任)</p> <p>第 29 条 理事又は監事が次の各号のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。</p> <p>(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。</p> <p>(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。</p> <p><u>(3) この法人の役員としてふさわしくない非行があったとき。</u></p> <p><u>(4) 第 24 条第 2 項に違反を生じたとき。</u></p>
<p>(権限)</p> <p>第 32 条 <第 1 項省略></p> <p>2 理事会は、一般社団・財団法人法第 197 条において準用する一般社団・財団法人法第 90 条第 4 項 <u>各号に掲げる事項その他の重要な業務執行の決定</u>を除き、理事に委任することができる。</p>	<p>(権限)</p> <p>第 32 条 <第 1 項省略></p> <p>2 理事会は、一般社団・財団法人法第 197 条において準用する一般社団・財団法人法第 90 条第 4 項 <u>に定める事項</u>を除き、理事に委任することができる。</p>

第 2 号議案 理事の選任について

以下の者を理事として選任する。

(新任者)

氏名	所属名
舟橋 秀和	愛知県市議会議長会会長 (小牧市議会議長)

<参考：前任者>

氏名	所属名
玉井 宰	愛知県市議会議長会会長 (小牧市議会議長)

第 3 号議案 評議員及び役員等の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正について

評議員及び役員等の報酬等並びに費用に関する規程の一部を次のとおり改正する。

【評議員及び役員等の報酬等並びに費用に関する規程】

変更案	現行規程
<p>(報酬等の額の決定)</p> <p>第 4 条 前条第 2 項に定める理事の報酬は、日額 10,000 円を上限として、会長が定め、理事会が承認し、評議員会が決定した額を支払うことができる。</p> <p>2 前条第 3 項に定める監事の報酬は年額により支給するものとし、各監事に支給する額は 300,000 円を上限として、監事の協議により定めるものとする。ただし、年の中途において就任し、又は退任し、若しくは解任された場合、当該年の報酬額を減額することができる。</p> <p>3 前 2 項に定めるもののほか、この法人の役員等に対しては、いかなる報酬等も支給しない。</p>	<p>(報酬等の額の決定)</p> <p>第 4 条 前条第 2 項に定める理事の報酬は、会長が定め、理事会が承認し、評議員会が決定した額を支払うことができる。</p> <p>2 前条第 3 項に定める監事の報酬は年額により支給するものとし、各監事に支給する額は 300,000 円以内とする。ただし、年の中途において就任し、又は退任し、若しくは解任された場合、当該年の報酬額を減額することができる。</p> <p>3 前 2 項に定めるもののほか、この法人の役員等に対しては、いかなる報酬等も支給しない。</p>

<参考>

【評議員及び役員等の報酬等並びに費用に関する規程】

<p>(報酬等の支給)</p> <p>第 3 条 評議員に対しては、報酬等を支給しない。</p> <p>2 理事に対しては、報酬等を支給しない。ただし、理事が理事会出席以外の場合において、会長の命を受けて法人のための業務に従事した場合は、報酬等を支給することができる。</p> <p>3 監事に対しては、職務執行の対価として報酬等を支給することができる。</p> <p>4 前 2 項を除く役員等に対しては、報酬等を支給しない。</p>
--

職務執行状況

1 大会開催基本計画の策定など着実な準備の推進

①大会開催基本計画の策定

- ・大会の概要や競技、競技大会施設（競技会場・選手村）、宿泊、輸送など15の運営分野について定める大会開催基本計画案を作成した。

②大会運営計画の検討

- ・輸送計画について、ジャカルタ大会等の運営体制などを参考にしながら、選手村・競技会場間の選手団輸送及び最寄駅・競技会場間の観客輸送について、必要な輸送力や渋滞箇所等の課題の調査と対応策の検討を進めている。

③競技会場の仮決定

- ・競技団体や市町村等と協議、調整を行い、パリオリンピックで実施される中核28競技について、調整が整った35競技会場の仮決定案を作成した。

④選手村の検討

- ・メイン選手村（名古屋競馬場跡地）に整備する宿泊施設やサービス施設の仕様や配置等の検討を進めている。

⑤マーケティング活動の推進

- ・スポンサー交渉等を行う専任代理店の選定に向け、アジア・オリンピック評議会（OCA）との調整や、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）、先催大会等の組織委員会などからの情報収集を行い、選定に必要な要件について検討を進めている。
- ・大会名称及び大会スローガンについて、知的財産権の保護のため、使用に関するマニュアルを策定した。

⑥広報活動

- ・大会スローガンについて、日・英各1案を選定した。また、大会エンブレムについて、募集に関する事前告知を開始し、専用サイトを開設した。
- ・公式ホームページ（日・英・中）及び公式SNSを開設し、情報発信を開始した。
- ・共同PR動画の制作について、2022年第19回杭州アジア競技大会組織委員会（HAGOC）との間で、企画、編集内容の調整を進めている。

⑦関係団体との連絡調整

- ・アジア競技大会に関する情報収集や各種の取組に向け、JOC、OCA、東京2020大会組織委員会、HAGOC等の関係団体との連絡調整を進めている。

2 事務局体制の整備

- ・来年夏頃の公益法人化を目指して準備を進めている。

今後の理事会スケジュール（予定）

時 期	内 容
2020年 3月	○2020年度事業計画及び収支予算案の議決 ○大会エンブレム案の議決 ○公益認定申請についての議決
2020年 6月頃	○2019年度事業報告及び計算書類等の議決